

広域避難者支援連絡会 in 東京 平成 27 年度事業報告書

平成 28 年 6 月

広域避難者支援連絡会 in 東京

1 連絡会の概要

- (1) 名 称 広域避難者支援連絡会 in 東京
- (2) 設立日 平成 25 年 5 月 22 日 (水)
- (3) 事務局 広域避難者支援連絡会 in 東京 事務局
東京ボランティア・市民活動センター 内 担当：加納、高橋
〒162-0823 新宿区神楽河岸 1-1 TEL 03-3235-1171 FAX03-3235-0050
ホームページ <http://www.tvac.or.jp/special/kouiki>
メール kouikihinan@tvac.or.jp
- (4) 参加団体 12 団体 (以下、五十音順)
荒川区社会福祉協議会
いたばし総合ボランティアセンター
災害復興まちづくり支援機構
さわやか福祉財団
東京足湯プロジェクト
全労済 (全国労働者共済生活協同組合連合会)
中央労働金庫
東京災害ボランティアネットワーク
東京都生活協同組合連合会
東京ボランティア・市民活動センター
東京労働者福祉協議会
連合東京

※連合東京が平成 27 年 4 月より参加団体に加わり、計 12 団体となっている。

2 連絡会の事業報告

(1) 総会の開催

総会を開催し、平成 27 年度事業計画及び収支予算等について審議した。

(2) 定例会議の開催

連絡会参加団体が集まり、情報交換や企画検討を行う定例連絡会を毎月開催した。

<実績>

第 1 回 4/8、第 2 回 5/21、第 3 回 6/11、第 4 回 7/9、第 5 回 8/6、第 6 回 9/10

第 7 回 10/8、第 8 回 11/12、第 9 回 12/10、第 10 回 1/14、第 11 回 2/2、第 12 回 3/10

(3) 広域避難者支援ミーティング in 東京の開催

避難者支援団体や避難当事者団体の交流、連携を促すための情報交換の場を提供し、様々な支援手法・アイデアの共有を通して、避難者支援団体による支援の充実・工夫を図った。

第 10 回、第 12 回の広域避難者支援ミーティングは多くの支援団体が集まる場とし、第 9 回、第 11 回ミーティングは都内避難当事者団体のみが集まり情報交換を行う場とした。なお、第 11 回のミーティング（クローズド）は、試行的に当事者団体が通常行っているサロン活動に他地域の当事者団体が参加する形で実施した。

<実績>

第 9 回広域避難者支援ミーティング in 東京（クローズドミーティング）

日 時：平成 27 年 7 月 16 日（木）午後 1 時 30 分～4 時 30 分

場 所：全水道会館 中会議室

内 容：避難者支援に関するさまざまな制度について／住宅問題について

実 績：当事者団体 12 団体 15 名が参加／広域避難者支援連絡会 in 東京から 17 名、オブザーバー 18 名／話題提供者 2 名

※避難者に対して様々な制度が設けられているが、今後、長期避難や移住を考えていく上で、どのような支援が必要になるのかについて意見交換を行った。避難者からは、相談窓口はあっても相談しにくいという意見や戸別訪問では引っかからないギリギリになる前の方々をどうサポートしていくかという意見が出た。また、住宅問題について福島県、東京都の施策を説明いただいた後の意見交換では、都営に申し込んでも倍率が高くなかなか当たらない状況があることやこの間の避難生活の中で既にコミュニティが作られており、現在の住宅に住み続けたいという声も聞かれた。

第 10 回広域避難者支援ミーティング in 東京（オープンミーティング）

日 時：平成 27 年 9 月 18 日（金）午後 2 時～4 時 40 分

場 所：全水道会館 大会議室

内 容：7/16 クローズドミーティングの報告／グループワーク

実 績：56 団体 91 名（うち当事者団体 9 団体 12 名、連絡会 9 団体 13 名）

※7/16 の第 9 回ミーティングについて参加した当事者から報告していただいた。その上で、避難者の声を踏まえて、今後、どのような関わり方ができるか？というテーマでグ

ループワークを実施。各グループからは、話ができる・信頼しあえる関係を作ることが大事、また、外に出てこない避難者については本人が役割を持てるよう働きかけたり、本人が出やすい場を作ることが重要、という意見が出た。

第11回広域避難者支援ミーティング in 東京（クローズドミーティング）

日 時：平成28年1月26日（火）午後1時30分～午後3時30分

場 所：東雲住宅1階

内 容：参加した当事者団体の取組報告／広域交流会の報告／交流

実 績：避難当事者団体5団体5人（東雲の会除く）、東雲住宅参加者25人、広域避難者支援連絡会 in 東京8団体9人、その他

※これまでのクローズドミーティングは、当事者団体の代表者のみのネットワークになりがちだったので、第11回の広域避難者支援ミーティング in 東京は東雲住宅で実施しているサロンを拡大する形で、他地域の当事者団体が東雲のサロンに参加し、東雲に避難している人と他の当事者団体が交流出来る形とした。

第12回広域避難者支援ミーティング in 東京（オープンミーティング）

日 時：平成28年3月3日（木）午後1時30～4時40分

場 所：全水道会館 大会議室

内 容：避難者からの話題提供／関東圏の支援団体の取組状況報告

実 績：53団体84名（避難当事者団体10団体16名、支援団体34団体52名、広域避難者支援連絡会 in 東京9団体16名）

※住宅支援の終了が迫る中で、これからまた避難者の移動が起きることが考えられることから、今回のミーティングでは、都内から都内また都内から都外へ住まいを移られた方から話題提供をいただき、その上で、各県での避難者支援の取組状況の共有を行った。各県からは移住先でも福島から避難していることを隠したいという声があること、住宅購入等の動向を具体的に把握している地域とそうでない地域があることなども分かった。参加者からは、今後、自主避難の住宅支援が切れる中で、どのような支援が必要なのか考えたいという声があった。

（4）当事者団体との協働事業

避難当事者団体同士のネットワーク作りをさらに進めるため、この間連携している12団体の当事者団体と協働して具体的な交流プログラムを実施した。

<実績>

○避難者と支援者による ふれあいフェスティバル

日 時：平成27年10月24日（土）午前10時30分～午後3時30分

場 所：都立木場公園

参加者：462人（うち避難者286人）※受付で確認できた人のみ

○お正月準備の会 in 町田

日 時：平成27年12月26日（土）午前10時30分～午後2時

場 所：町田シバヒロ

参加者：328人（うち避難者213人） ※受付で確認できた人のみ

- ※広域で交流することで普段出会うことの少ない同郷の避難者と交流する機会となった。
- ※交流会を実施する上で、交流会開催地域の様々な団体に資機材の提供を含めさまざまな支援を頂くことができ、こうした支援を頂くことで広域避難者の問題をより多くの関係者に身近に感じて頂くきっかけとなった。
- ※2つの取組みとも実行委員会を設置し、広域避難者支援連絡会 in 東京も委員として参加するとともに事務局を担った。実行委員会は準備会を含め、計10回実施。実行委員会を重ねることで、当事者団体のネットワークを深める場となった。

(5) 情報収集と情報発信

①メルマガの配信

都内避難者支援団体の取組みを伝えるメルマガを配信した。

<実績>

メルマガ配信者：27年度末95人（25年度43人、26年度86人）

メルマガ配信回数：20回

第1回4/22、第2回5/12、第3回5/23、第4回6/24、第5回7/2、第6回7/14、第7回8/6、第8回9/17、第9回9/30、第10回10/16、第11回11/4、第12回11/17、第13回11/27、第14回12/17、第15回1/15、第16回1/27、第17回2/12、第18回2/26、第19回3/15、第20回3/31

※メルマガの内容は、地域でのサロン情報、法律相談会や就職相談会情報、コンサート等への招待支援情報、広域避難に関するイベント情報、原発賠償説明会等の情報、助成金情報など

※昨年度は月に2~3回程度の頻度でメール配信を実施し、計30回を配信したが、27年度は支援情報が少なくなったため月に1回~2回の配信に変更し、年間で計20回の配信となった。

②ホームページでの情報発信

広域避難者支援連絡会 in 東京のホームページを更新し、広域避難者支援ミーティング in 東京の告知や開催報告、広域交流会の開催報告などを行った。

(6) 勉強会

広域避難者の現状や支援の取組みを学ぶための勉強会だが、今年度は実施することができなかった。

(7) その他

①当事者団体とのバディ制の実施

連絡会の参加団体の中で、各々の避難当事者団体を担当するバディ制を実施した。

バディ担当者は、当事者団体の活動状況の把握とともに各種助成金の紹介やさまざまな支援の申し出の調整を行った。

②全国・他県の支援団体とのネットワーク強化

他地域の情報収集やネットワーク強化のため、全国レベルでのミーティングや近隣県で開催

される情報交換の場に参加した。

<実績>

○福島県ふるさと・きずな維持再生支援事業「縁 joy・東北 2015」（千葉県）

・実行委員会

日 時：平成 27 年 5 月 19 日（火）、6 月 22 日（月）、9 月 8 日（火）

・イベント

日 時：平成 27 年 11 月 28 日（月）

場 所：きぼーる広場（アトリウム）

○福玉リーダー会議（埼玉県）

日 時：平成 27 年 6 月 3 日（水）

○被災者支援情報交換会（千葉県）

日 時：平成 27 年 7 月 30 日（木）、平成 28 年 3 月 9 日（木）

○タケダ・赤い羽根広域避難者支援プログラム研修会への参加

日 時：平成 27 年 10 月 25 日（日）午後 1 時～午後 6 時（第 1 回）

平成 28 年 2 月 24 日（水）午後 1 時～午後 6 時（第 2 回）

場 所：日本 NPO センター（第 1 回・第 2 回）

○広域避難者支援ミーティング in かながわへの参加（神奈川県）

日 時：平成 27 年 11 月 21 日（土）

場 所：横浜開港記念会館 1 階 1 号室

主 催：かながわ避難者と共にあゆむ会

○シンポジウム「震災から五年、広域避難者の生活と支援を考える」（埼玉県）

日 時：平成 28 年 2 月 27 日（土）

場 所：市民会館うらわ

○第 3 回広域避難者支援ミーティング・全国版への参加（全国）

日 時：平成 28 年 3 月 22 日（火）

場 所：TKP 大手町ビジネスセンター

主 催：JCN（東日本大震災支援全国ネットワーク）

3 連絡会に参加している団体の広域避難者支援の取組み

○荒川区社会福祉協議会

「避難者の孤立化防止事業」を実施し、避難者への戸別訪問、サロンの運営サポートを実施した。

○いたばし総合ボランティアセンター…成増団地の避難者のサロン「コスモス会」、町田の「東北の絆サロン FMI 会」のサロンや交流プログラムに参加した。

○公益財団法人さわやか福祉財団…福島県、東京都とともに「ふくしま避難者交流会」を開催した。また、福島県被災者同行会事務局を担っている。

○災害復興まちづくり支援機構…各地で行われている広域避難者のサロンに弁護士等を派遣した。

- 全労済（全国労働者共済生活協同組合連合会）…コンサート等の公演に東雲住宅などの避難者を無料で招待した。
- 中央労働金庫…「広域避難者地域活動サポート助成制度」をJCNと共同で継続実施、31団体に助成を行なった。助成団体間の交流や新しいつながりを作ることを目的とした活動報告会も開催。助成制度は、2016年度も継続実施することが決定し6月1日より受付を開始した。
- 東京足湯プロジェクト…江東区、板橋区で行われた避難者のサロンにて足湯プログラムを提供した。
- 東京災害ボランティアネットワーク…「むさしのスマイル」や「足立区新田ふるさと会」が実施するバスハイクに参加した。
- 東京都生活協同組合連合会…「鷺宮都営住宅自治会」が実施する避難者交流会に参加した。
- 東京ボランティア・市民活動センター…情報誌『ネットワーク』にて広域避難の当事者団体を紹介する連載を掲載した。

以上